

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県、南アルプス市、北杜市、甲斐市、中央市	地域再生計画名	やまなし中北部エリア地域再生計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	山梨県耕地課長、治山林道課長、道路整備課長、南アルプス市道路整備課長、北杜市道路河川課長、甲斐市都市計画課長、中央市建設課長、北杜市林政課長、甲斐市農林振興課長、中央市農政課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	観光周遊ルートの総所要時間	153分	H21			106分	H26	123分	△	市道や広域農道、林道の整備による効果により所要時間は短縮されたが目標を下回った。
	指標2	年間観光入込客数	7,703千人	H22			8,512千人	H26	8,438千人	△	最終基準年度の目標客数は達成出来なかったが、途中年次では目標を達成している年度もあり概ね効果があったと考えている。
	指標3	災害時の迂回路となる道路の整備率の向上	95.0%	H21			100.0%	H26	100.0%	○	目標が達成出来た。
	指標4	災害拠点病院への平均移動時間の短縮	27分	H21			21分	H26	21分	○	目標が達成出来た。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度(H)	最終実績						
	特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	4,890m		4,540m	一部未整備の区間があるが概ね目標に近い整備を行うことが出来た。					
		広域農道整備事業（整備延長）	8,285m		6,583m	一部の未整備区間のため全体供用が遅れている路線があるが、その区間の整備により一気に供用区間が延長すること、主要構造物（橋梁）が完了していることから事業の大半は完了していると考ええる。					
林道整備事業（整備延長）		25,154m		22,483m	引き続き整備を推進していく。						
その他の事業											
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	整備延長の実績、山梨県年間観光入込客統計調査報告書等により評価										
⑤事後評価の公表方法	山梨県のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、北部において韭崎IC等から八ヶ岳、茅ヶ岳南部方面へのアクセスを目的として、また南部においては来訪観光客の安全・安心を確保することを目的として広域農道、市道及びその周辺林道を整備した。目標には届かなかったが年度により目標観光入込客数を達成していることもあり概ね整備効果が発揮されたと考えている。										
⑦今後の方針等	引き続き未整備区間の事業推進を図り目標の達成を目指していきたいと考えている。										